

はじめに

人は自分の「窓」からしか人を見ることができません。

しかしながら、どんな人でも自分の「窓」からは見えない他人の要素が、必ず存在するものです。ですから、自分が把握できない要素があるという事実を謙虚に受け止めることが、人を見抜くための大前提と言えます。

「人を見る」というのは、とても難しいテーマです。私はこれまで人材紹介業に約15年間携わり、ヘッドハンターとして人を見る仕事をしてきました。その間に、人材サーチ（ヘッドハンティング）会社の役員をしていた経歴もありますし、自分自身が会社を立ち上げて経営者として人を雇ってきた経歴もあります。また、人材サーチ業界に入る前には、企業の人事部で人材採用を担当した経歴もあります。

人事部の一人として、また人材コンサルタント（ヘッドハンター）として数多くの人と面談してきた経験から、数多くの人と会って面談することよりも、むしろ修羅場を含む数多くの究極の人生経験でしか、「人を見抜く」力量は上がっていかないのではないかと最

近づくづく思うようになりました。すなわち、数多くの人を面談すれば自分の人を見る「窓」自体は多少なりとも大きくなるかもしれませんが、それよりも様々な人生経験を積んだ方が人を見る自分の「窓」をより大きく広げることになると思ったわけです。

そういった思いから普段経営者や役員として、あるいは人事の採用担当者として、採用のために人を見抜く必要に迫られている方のみならず、普段から営業や人と会う仕事をされている一般ビジネスパーソンにも、この点を理解して頂ければと思います。

「人は自分の『窓』を通してでしか他人を見ることはできない、すなわち見抜くことはできない」

この言葉は、人を見る際の普遍的な真理ではないかと考えます。本書ではこの言葉を前提として、人を見ることに関して私なりに探究していきたいと思います。

人に対する熱い思いを持っているのは、もちろん私だけではありません。私は人材コンサルタントの仕事をする中で、大企業から中小企業、ベンチャー企業に至るまで数多くの企業の経営者の方とお会いしてきましたが、おしなべて人材の採用という点に大なり小なり悩まれています。

日本では成功するベンチャー企業が少ないと言われています。ある資料によれば、100社立ち上がったベンチャー企業のうち10年後まで残っているのは6社しかないそう

です。そのくらい日本において起業するというのは大変なことなのですが、私がよく経営者から経営に関する悩みを聞くと、ビジネスモデルや資金繰りの問題もさることながら、採用した人材の良し悪しが大きな課題になっているという回答が数多く返ってきます。要は、入社してくる人材が企業の命運を決定すると言っても過言ではないでしょう。

人材に関して悩んでいるのは決してベンチャー企業ばかりではありません。中小企業から大企業まで、あらゆる会社の経営者や人事担当者の方が採用についての重要さとその難しさを口にされます。実際には、そうした人材に関する深い話は、経営者の方や人事担当者の方とある程度懇意になり、それこそお酒を飲みながら話せるような関係になっただけで聞かせてもらえる内容でもありません。

基本的に経営者や人事担当者は人材に関する悩みを持ちながらも、なかなか自分の会社の内部の人材に関する問題については積極的に関心をもちたいと思いません。ですから、現実には企業の中で人に関するどんな問題が生じているのか、採用した人間でどれだけ苦労しているのか、という類の内容をきちんとしたデータとしてまとめることは現実には不可能であると言えます。

私が今回本書を出版しようと考えた原点は、この本を通じて私自身の体験のみならず企業の経営者や人事担当者の方から伝え聞くことができた人材に関する苦労話を、個人情報

に配慮しながら私なりにうまく咀嚼してお伝えすることができれば、世の中の経営者や人事担当者が普段取り組まれる人材採用活動や人の問題の解決に少しでもお役に立てるのではないかと考えるに至ったためです。

さらに、これから起業する方や自分の会社を更に拡大していこうと考えている中小企業の経営者の方々のみならず、一般ビジネスパーソンにとっても意義ある内容にしたいと考えた次第です。

今回の本は、面接から実際の採用に至るまでの人の見抜き方から、採用した人材が社内で問題を起こした際にどう対応すべきであるかといった点にまで踏み込んで、私なりの見解をまとめると同時に、人の採用だけでなく営業をはじめとした人と接する仕事に携わるビジネスパーソンにも役立つ内容を加えさせて頂きました。

この本が、少しでも読者の皆様のお仕事に貢献できれば、とてもありがたいと思います。そして本書の出版にあたりお世話になりました皆様に、心より感謝申し上げます。

平成24年8月吉日

佐藤人材・サーチ株式会社 代表取締役 佐藤文男